

SDGs 未来都市推進事業の進捗状況等について

1 経緯

本区は、令和3年5月「SDGs 未来都市」「自治体 SDGs モデル事業」に選定され、SDGs の取組を進めている。SDGs を効果的に推進するため策定した「墨田区 SDGs 未来都市計画」に掲げた経済・社会・環境の三側面の取組を着実に実行し、誰一人取り残すことのない持続可能な“すみだ”の実現を目指している。SDGs の17の目標は、本区が目指す「暮らし続けたいまち」「働き続けたいまち」「訪れたいまち」の方向性に沿っており、墨田区基本計画の中間改定においても、その考え方を明記したところである。SDGs の達成には、区民や事業者、職員それぞれの「行動＝Action（アクション）」が必要であるため、「SDGs を身近に感じて参加する」ことを目的に普及啓発事業を実施する。

2 昨年度の SDGs 普及啓発事業（実績）

「SDGs 未来都市」「自治体 SDGs モデル事業」への選定に伴い支給された内閣府の地方創生支援事業費補助金を活用し、下記の内容のとおり啓発事業を実施した。

- (1) 普及啓発冊子及び SDGs バッジの作成・配付（町会・自治会長、民生委員・児童委員等）
- (2) 区報 SDGs 特集号（令和4年3月21日号）発行
- (3) 子ども PR 大使のワークショップ（3回実施）及び啓発動画「Go! Go! SDGs」作成
- (4) 職員向け勉強会の実施（2回実施）
- (5) SDGs 特設ページのリニューアル（区公式ホームページ）
- (6) スマートごみ箱「SmaGO（スマゴ）」の設置（おしなり公園内）



区報特集号



子ども PR 大使のワークショップの様子



啓発バッジ



普及啓発冊子



スマートごみ箱

3 今年度のSDGs未来都市推進事業

(1) SDGs普及啓発事業

SDGsの達成には、行政が取り組むだけでなく、区民や事業者、職員がSDGsについての理解を深め、「Action」を起こすことで、取組の輪を広げる必要がある。

今年度は、「SDGsを身近に感じて参加する」ことを目的に、8月及び来年1月に区民参加型の啓発活動を行うとともに、すでに取り組んでいる内容がSDGs達成につながっているという「気付き」を生むための情報発信を充実させる。

また、SDGsに意欲的に取り組んでいる区内事業者等を募集し、取組内容を区公式ホームページで紹介することで応援する「SDGs宣言事業」のPRを行う。

併せて、区が実施するイベント（6月すみだ環境フェア・10月食育フェスなど）の機会を捉え、効果的にSDGsの啓発を実施する。

(2) すみだ公民連携デスク

行政だけで解決することが難しい課題に対してアプローチするためには、企業・団体等との幅広い連携により課題解決を図ることが必要である。本区との連携を考える企業・団体等のワンストップ窓口として相談・提案を受け、内容に応じて庁内の各担当につなぐ橋渡しの役割を担う「公民連携デスク」を設置した。

(3) つながりを深化する「仕組み」づくり

多様なステークホルダー同士が共通の目的をもって協働するためには、企業・団体等が有機的につながる「仕組み」が必要である。

現在、錦糸土木事務所跡地について、スタートアップ企業の支援・集積に資する機能に加え、区内事業者、区民、スタートアップ企業等が交流できるコミュニティ形成やSDGsに関する情報発信の機能を備えた施設として活用を検討している。

(4) 政策形成プログラム事業

SDGsを理解し、多様なステークホルダーとの公民連携等の視点をもって、区が抱える行政課題について、政策立案を通して課題解決ができる職員を育成する。

関係所管への調査から、課題についての研究、政策課題調書の提出までSDGs未来都市政策調整担当がサポートを行う。

なお、プロジェクトチームが取り組む各分野のテーマは次のとおり。

- ・経済：「持続可能な観光施策」
- ・社会：「健康長寿のまちづくり」
- ・環境：「食品ロスの削減」

(5) 「自治体 SDGs モデル事業」の推進

昨年度、本区の SDGs を効果的に推進するため策定した「墨田区 SDGs 未来都市計画」の中に掲げている産業を基軸とした「自治体 SDGs モデル事業（経済・社会・環境の三側面の取組）」に係る進捗管理を行い、SDGs に資する取組を着実に推進する。

なお、今年度、各分野で注力する主な取組は次のとおり。

- ・ 経済：「プロトタイプ実証実験支援事業」
- ・ 社会：「墨田区版健康経営支援事業」
- ・ 環境：「2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた各種取組」

4 事業全体のスケジュール

